

令和4年度大阪市障がい者スポーツセンター事業報告書

施設概要

1 大阪市長居障がい者スポーツセンター

施設名	大阪市長居障がい者スポーツセンター
所在地	大阪市東住吉区长居公園1-32
施設規模	敷地面積 13,273.93㎡ 延床面積 8,503.79㎡ (本館 7,456.12㎡ 別館 1,047.67㎡)
主な施設	体育室・温水プール・トレーニング室・卓球室・ボウリング室・ 小体育室・遊戯室・屋外プール・屋外運動場・会議室・研修室・ 相談室等

2 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター

施設名	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター
所在地	大阪市此花区北港白津2-1-46
施設規模	敷地面積 18,120.85㎡ 延床面積 14,374.08㎡ (スポーツ施設 10,371.75㎡ 宿泊研修施設 4,002.33㎡)
主な施設	【スポーツ施設】 アリーナ・温水プール・トレーニング室・卓球室・ボウリング室・ サブアリーナ・プレイルーム・多目的広場・会議室・図書室等 【宿泊研修施設】 宿泊室(27室)・大浴室・家族浴室・研修室・大広間・レストラン

指定管理者

団体名	社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会
主たる事務所の所在地	大阪市天王寺区東高津町12番10号 大阪市立社会福祉センター内
代表者	理事長 石田 易 司
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
報告対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
担当者	谷和 孝博
連絡先	社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会 障がい者スポーツ振興部 大阪市長居障がい者スポーツセンター 総務課 TEL 06-6697-8681

目 次

1	指定管理業務の実施状況	1
(1)	管理運営方針	
(2)	職員の配置（職員体制）	
ア	効率的な人員配置と事業運営	
イ	専門的知識・資格を有する職員の配置	
ウ	体育施設の維持管理の資格を有する職員の配置	
(3)	各種委員会活動	
(4)	職員研修（人権問題、安全管理、資格取得、施設管理、技能習得）	
(5)	個人情報保護・情報公開の取り組み	
(6)	障がい者虐待防止への取り組み	
(7)	事故防止対策の取り組み（危機管理）	
ア	自然災害等の緊急時対応	
イ	火災訓練（避難訓練・防災訓練）等の実施	
ウ	安全管理（事故防止等安全対策）	
エ	衛生管理（新型コロナウイルス感染症拡大防止 他）	
オ	総合賠償責任保険・レクリエーション保険等への加入	
カ	非常通報装置	
2	施設・設備の維持管理	8
(1)	定期点検（建築物及び設備等の保守点検）	
ア	長居障がい者スポーツセンター	
イ	舞洲障がい者スポーツセンター	
(2)	建物・設備の改修	
(3)	経費縮減に対する取り組み	
(4)	環境への取り組み	
3	利用状況	11
(1)	大阪市障がい者スポーツセンターの利用人数等の実績 開館日数、利用状況 他	
4	実施事業	14
(1)	それぞれのニーズやレベルに応じたスポーツ・レクリエーションの提供	
ア	スポーツ教室事業	
イ	スポーツ・レクリエーション事業、交流事業	
ウ	出張スポーツ・レクリエーション事業	
エ	スポーツクラブの育成と支援	

- (2) 障がい者のスポーツ振興を担う人材の育成
 - ア ボランティアの育成
 - イ 実習生の受け入れ
 - ウ 中級障がい者スポーツ認定校学生対象事業
 - (3) 障がい者のスポーツに関する普及・啓発事業
 - ア 障がいの理解講座
 - イ ホームページ等でトレーニング等の動画配信
 - ウ 小中学校の障がい者のスポーツ体験授業への職員の派遣
 - エ スポーツ関係の手話を学ぼう「グッチの部屋」を動画配信
 - オ 発達障がい者支援センター・職業リハビリテーションセンターへの事業協力
 - カ 相談事業
 - (4) サービスの向上策
 - ア 広報
 - イ 利用者サービスの向上
 - (5) 苦情対応体制
 - ア 苦情受付システムの揭示
 - イ ご意見箱の設置
 - (6) その他の事業
 - ア 大阪市障がい者スポーツセンター運営委員会の開催
 - イ 利用者アンケート調査の実施
 - ウ 地域や他施設との連携、各種関連団体との協働
 - エ 障がい者スポーツ振興部（長居・舞洲・振興室）紀要の発行
- 5 自主事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- (1) ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設 機能強化事業
（文部科学省委託事業）
 - (2) 2022 国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会企画調整事業
 - (3) レストラン、契約貸ロッカー及び自動販売機等の設置・管理運営
- 6 収支決算状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
- (1) 令和4年度 大阪市障がい者スポーツセンターの指定管理業務清算収支報告書
 - (2) 令和4年度 大阪市障がい者スポーツセンターの指定管理業務清算収支報告内訳書

1 指定管理業務の実施状況

(1) 管理運営方針

大阪市障がい者スポーツセンター(以下「センター」という。)は、「障害者基本法」や「スポーツ基本法」などの関連法規、「大阪市障がい者支援計画」などの関連施策や設置条例などを尊重し、障がいのある誰もがその人らしく豊かで自立した生活を送ることができるように、「個人としての尊重」「社会参加の機会の確保」「地域での自立生活の推進」を実現することを念頭に、～ Sports for All ～「健康づくり・リハビリから、レクリエーション、競技スポーツまで、障がいのある誰もが、スポーツに親しめる環境の提供」を基本理念とし、次に掲げる基本方針に基づいて、多岐多様なサービスを提供しました。

管理運営にあたっては、すべての障がいのある人に対して「平等利用」と「公平なサービス」に努め、また、利用者に満足いただけるように努めました。

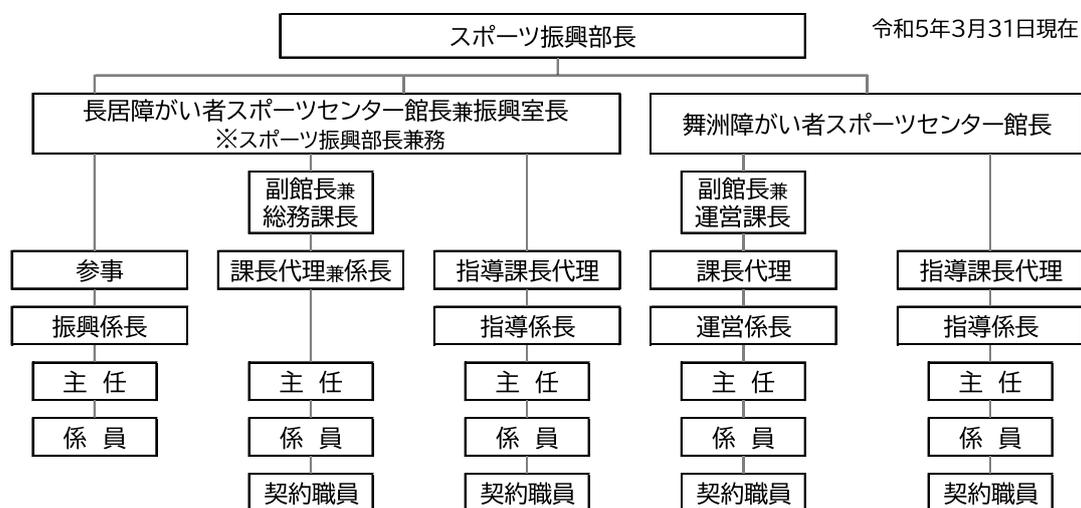
- ① 障がいのある誰もが、いつでも、一人で来ても、利用できる安全で安心な環境づくり
- ② 大阪市における障がい者のスポーツの拠点としての機能の発揮
- ③ それぞれのニーズやレベルに応じた、スポーツ・レクリエーションの提供
- ④ スポーツを通じた仲間づくり・社会参加の推進
- ⑤ 障がい者のスポーツ人口を増やすための、積極的な取り組みの推進
- ⑥ 安全・安心の確保と管理経費の縮減の両方を実現するための創意工夫

(2) 職員の配置（職員体制）

ア 効率的な人員配置と事業運営

長居障がい者スポーツセンター（以下「長居SC」という。）と舞洲障がい者スポーツセンター（以下「舞洲SC」という。）とスポーツ振興室を一体化させた「障がい者スポーツ振興部」として、『いつ一人で来館しても指導員や仲間がいて、安心していろいろなスポーツを楽しむことができるセンター』の体制を確立するとともに、両センター間で職員の派遣を行う等、協力してより効率的効果的な人員配置で事業運営に取り組みました。

■ 障がい者スポーツ振興部職員配置図



■ 職員数

所属	部長	館長 室長	副館長	課長等	課長 代理	係長	主任	係員	小計	契約 (係員)	合計
スポーツ振興部	1	(1)							1		1
スポーツ振興室		(1)		※1		1	1	※1	2		2
長居	総務課		1	(1)	1	(1)	1	3	6	1	7
	指導課				1	1	2	7(注2)	11	5	16
舞洲	運営課	1	1	(1)	1	1	1	1	6	1	7
	指導課				1	1	1	7(注2)	10	5	15
合計	1	1	2	0	4	4	6	18	36	12	48

カッコ内の数字は、兼務者の人数

- ・※に付した数字は、業務代行料の対象とならない職員の人数
- ・注に付した数字は、育児休業期間中の職員の人数（長居 SC 指導課係員 2 人、舞洲 SC 指導課係員 2 人）
- ・小計・合計欄の人数は、兼務者及び業務代行料の対象とならない職員を除いた人数

イ 専門的知識・資格を有する職員の配置

スポーツコーチ、スポーツ指導員（初級、中級、上級）、健康運動指導士、トレーニング指導士や理学療法士など、専門知識を有する職員を配置することにより、健康づくり・リハビリテーション・レクリエーション・競技スポーツなど、利用者のニーズや障がいの程度、スポーツの習熟度に応じたサポートを提供しました。

■ (公財)日本パラスポーツ協会公認 障がい者スポーツ指導員等

スポーツコーチ	2人
上級障がい者スポーツ指導員	16人
中級障がい者スポーツ指導員	15人
初級障がい者スポーツ指導員	6人

■ その他の主な資格

理学療法士	3人
精神保健福祉士	1人
柔道整復師	1人
健康運動指導士	1人
水泳指導管理士	3人
トレーニング指導士	2人
音楽療法士（ミュージックケア）中級	1人
音楽療法士（ミュージックケア）初級	2人
手話技能検定 準2級	1人

ウ 体育施設の維持管理の資格を有する職員の配置

施設の維持管理、緊急時対応、安全管理、衛生管理については、資格等を有する職員を中心に関係機関と連絡を密にし、適切な管理に努めました。

■ 施設管理

(公財)日本スポーツ施設協会 上級スポーツ施設管理士	3人
(公財)日本スポーツ施設協会 スポーツ施設管理士	3人
(公財)日本スポーツ施設協会 スポーツ施設運営士	2人
(公財)日本プールアメニティ協会 プール施設管理士	3人

■ 安全管理

甲種防火管理者	5人
安全運転管理者	1人
防災管理者	1人
救急救命・応急手当普及員	3人

■ 衛生管理

(公財)日本プールアメニティ協会 プール衛生管理者	5人
---------------------------	----

(3) 各種委員会活動

安全、環境、情報、利用者満足度向上の観点から、委員会活動を実施しました。

- (ア) 安全管理委員会：防災点検、AED 定期点検、スポーツ器具安全点検の実施。
「避難訓練、防災訓練」の実施（各センター：年2回実施）大阪 880 万人訓練、
大阪市行政ワライによる被災状況の伝達訓練（年1回実施）
- (イ) 環境衛生管理委員会：エコキャップ・プラタブ回収、資源ごみ・一般ごみ分別
舞洲では、毎年、「廃棄物の減量推進及び適正処理に関する計画書（減量計画書）」を
提出しており、ごみの減量に努めています。
- (ウ) 情報管理委員会：受付サーバー機セキュリティチェック、メールアドレスの管理
- (エ) サービスマナー向上委員会：セルフチェックシート、虐待防止チェックシートの
活用
- (オ) 研修委員会（安全管理・職員研修・人権研修・障がい者スポーツ指導員資格取得・施
設管理・人材育成の計画に基づく受講の推奨及び調整）

(4) 職員研修（人権問題、安全管理、資格取得、施設管理、技能習得）

職員としてふさわしい基本的な意識・知識・技術の向上を図るため職場内研修を実施した他、利用者に対して常にレベルの高いサービスが提供できるよう外部研修を行いました。

■ 職員研修実施状況

1. 人権研修

実施日・期間	内 容	場 所	参加人数
2/20～3/15	「障がい者虐待防止」「個人情報の保護」	長居 SC	23人
	(感染症拡大防止措置として、オンラインでの研修)	舞洲 SC	20人

2. 安全管理

実施日・期間	内 容	場 所	参加人数
5/22	普通救急救命措置研修（職場内研修）	長居 SC	13 人
6/30	上級救命講習	大阪市消防振興協会	2 人
10/18	普通救命講習 I	大阪市役所第 8 共通会議室	1 人
11/2	リスクマネジメント研修	大阪市社会福祉研修・情報センター	1 人
11/25	令和 4 年度安全運転管理者講習会	東成区民センター	1 人
12/11	上級救命講習	大阪市消防振興協会	1 人
12/25	上級救命講習	大阪市消防振興協会	1 人

3. 資格取得

実施日・期間	内 容	場 所	参加人数
9/22	日本スポーツ施設協会公認スポーツ施設管理士 w e b 研修	長居 SC	1 人

4. 施設管理・技能習得

実施日・期間	内 容	場 所	参加人数
5/23～8/12	職業能力等向上支援研修	大阪市職業リハビリテーションセンター	1 人
5/31	接遇マナー・電話応対研修	大阪市社会福祉研修・情報センター	2 人
6/27	労務管理研修	大阪市社会福祉研修・情報センター	1 人
7/11・12	スポーツ庁主催「ここスポ」オンライン説明会	長居 SC	5 人
7/12・22	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（管理職員コース）	大阪市社会福祉研修・情報センター	1 人
7/21・8/31	スーパービジョン研修	大阪市社会福祉研修・情報センター	1 人
7/26	ファシリテーション研修	大阪市社会福祉研修・情報センター	3 人
8/19、 9/15～16	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（初任者職員コース）	大阪市社会福祉研修・情報センター	1 人
9/29	大阪市内の福祉活動の実践報告会『福祉の今を知る！』	大阪市社会福祉研修・情報センター	1 人
10/5・12	財務管理研修	大阪市社会福祉研修・情報センター	2 人
10/21	令和4年度飲料水衛生管理講習会（簡易専用水道）	中央区民センター	1 人
11/2～13、 11/29	第17回公認スポーツ施設運営士養成講習会	国立オリンピック記念青少年センター	1 人
11/25	リスクマネジメント研修	大阪市社会福祉研修・情報センター	1 人
12/9・16	社会福祉の基本と対人援助研修	大阪市社会福祉研修・情報センター	1 人
12/10～11	第17回障がい者スポーツ指導者全国研修会	福井県民ホール 福井市地域交流プラザ	1 人
12/12	障害者 I C T サポートシンポジウム（オンライン）	長居 SC ・舞洲 SC	2 人

12/12、 1/24・30	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課 (中堅職員コース)	大阪市社会福祉研 修・情報センター	1人
R5. 2/6	遊泳場衛生管理講習会	大阪役所第11 共通 会議室	2人
R5. 2/18	令和4年度 廃棄物管理責任者講習	YouTube チャンネル 動画	1人
R5. 2/24	福祉職場で働く新人職員のためのパワーアップ↑ 研修	大阪市社会福祉研 修・情報センター	1人
R5. 2/27、3/6	パワーポイントDEプレゼンテーション研修	大阪市社会福祉研 修・情報センター	1人
R5. 3/6~10	生涯スポーツ・体づくり全国会議2023 (オンライン)	長居 SC	1人
		舞洲 SC	1人
R5. 3/7・8	全国障がい者スポーツ協議会 合同会議 パラスポーツinfo2023 (オンライン)	長居 SC・舞洲 SC	2人
		ベルサール東京	1人
R5. 3/20	第17回 障がい者スポーツ指導者全国研修会	長居 SC	1人

(5) 個人情報保護・情報公開の取り組み

個人情報保護については、大阪市個人情報保護条例、当協会の個人情報保護規程・指針に基づく指定管理申請書の記載内容に則って取り扱いました。

情報公開については、大阪市情報公開条例、当協会の情報公開要綱に基づいて、第三者からの当協会・施設運営に関する情報公開要求に対して、個人情報を除き公開を原則として適切に対応できる体制を整えています。

個人情報保護に関しての具体的な取り組みは、以下のとおりです。

- (ア) 福祉関係事業者における「個人情報の適正な取扱いのためのガイドライン」等に基づき、センターに「情報管理委員会」を設置し、マニュアルを整備しています。
- (イ) 個人利用申込書(申請書)、スポーツ教室申込書など、個人情報は施錠できるキャビネットでの集中管理を採り入れています。
- (ウ) 個人情報に関するデータの記録媒体は、管理ファイルを設けて、利用目的・保管場所を明確にし、管理しています。
- (エ) スポーツ教室の申し込み等で個人情報を記載していただく場合は、目的以外は使用しない旨を明記し、その情報の守秘を常に心がけ管理しています。
- (オ) 日々の個人使用許可書は裁断処理、個人使用申請書及び専用(団体)使用申請・許可書は溶解処理をしています。
- (カ) 受付システムにおける個人情報の適切な管理のため、平成27年7月に「情報セキュリティ管理規程」を設けて以来、管理者、責任者、担当者に、「ID」を付与し、「パスワード」は6箇月ごとに変更するなど、情報のセキュリティ強化に努めており、ハード面の取り扱いとして情報機器のUSBポートの施錠を行っています。
また、長居SCと舞洲SCの両館でのデータ交換は職員が持参する方法で同日内に交換をしています。
- (キ) 個人情報の開示・訂正の申し出に対しては、本人確認のうえ情報を開示する、また訂正等の求めに理由があれば、必要な措置を講じる対応をとることをしています。

(6) 障がい者虐待防止への取り組み

虐待防止については、当協会の「虐待防止対応規定」に沿って施設長を虐待防止責任者として、職員を人権研修に参加させ、職員会議の場において虐待防止の徹底について注意喚起をしています。

センターにおける利用者虐待を未然に防止するために作成した「障がい者虐待防止マニュアル」に基づき、毎月、「職員セルフチェックリスト」により自己検証を行うとともに、発見の報告について明確化しています。

また、障がい者差別防止や障がい特性を踏まえた合理的配慮の確保にも努めています。

(7) 事故防止対策の取り組み（危機管理）

センターに「安全管理委員会」「環境衛生委員会」を設置し、同分野における日常の安全管理と緊急時の利用者の安全確保、および非常災害時の安全管理マニュアルを整備しています。火災・地震等の緊急時対応については、利用者・職員の身体・生命の安全確保を第一として、行政区ごとに作成された防災マニュアルを職員に配布、また所轄の消防署等との消防訓練・避難訓練等には利用者に参加していただくなど、組織的に取り組みました。

その他、日頃から不審者の入館等での警察等関係機関との協力・連携体制の確保に努め、館内の有事の際には迅速かつ適切な対応ができるよう職員の共通理解と施設内体制の構築に努めています。

ア 自然災害等の緊急時対応

- (ア) 災害発生時に利用者の安全を確保するため、定期的に施設・設備等の安全点検を行いました。
- (イ) 台風接近時や豪雨発生時、地震発生時には、テレビ等の報道やインターネットによる防災情報の収集に努め、利用者等の安全確保に努めています。

イ 火災訓練（避難訓練・防災訓練）等の実施

- (ア) 長居 SC では、例年、東住吉消防署との合同訓練（通報訓練、消火・避難誘導訓練）を実施していましたが、感染症拡大を防ぐためオンデマンドでの防災研修としました。
- (イ) 舞洲 SC では、此花消防署との合同訓練（夜間を想定した避難誘導訓練）を実施しました。
- (ウ) 舞洲 SC では、震度 6 クラスの地震が発生し、火災へとつながったことを想定した避難訓練を実施しました。

ウ 安全管理（事故防止等安全対策）

- (ア) 日頃から館内、屋外の安全を確保や施設の危険箇所の把握に努めました。
- (イ) 館内に不審者が立ち入った場合など緊急時に備え、随時館内巡回を行うこととしています。（今年度は、感染症予防対策として、すべての入館者に名前記載の入館票の提出を求めました。）
- (ウ) 施設・設備およびスポーツ用具、器具等の日常及び定期的な安全点検は、事故を防止するための留意点を記載した点検チェックシート方式で毎月実施しました。異常があれば直ちに使用禁止の措置をとり、修繕依頼をするなどの対応を取りました。
- (エ) 館内に自動血圧計を設置し、利用者に健康チェックをしていただくことで自分に

合ったスポーツ活動を促しました。

- (オ) スポーツ教室の実施に際しては、受講者への安全を第一としてスタッフの体制、スケジュールを組みました。
- (カ) 夏場に屋外運動場を利用するグループやアーチェリーをする方の熱中症予防のため、ポスター掲示だけでなく、職員が熱中症指数(WBGT)の測定や見回りを行い、水分補給を勧めました。
- (キ) 「ヒヤリハット」の事例では、すぐさま職員ミーティングの場で、また両センターでメール等で情報を共有し、事故防止に努めました。
- (ク) 利用者の障がい特性に配慮しながら、利用の仕方やスポーツ用具・機器の使用方法などについて、ルールを徹底を図りました。
- (ケ) 平素から AED（自動体外式除細動器）の自主研修を実施するとともに、AED 機器の作動確認および消耗品のチェックを点検表に基づき毎月実施し、消耗品の補充、器具の交換を行いました。
- (コ) 大阪消防振興協会が実施する上級救命講習を計画的に受講しました。
- (コ) 応急手当普及員の資格を持ったセンター職員が講師となって、職場内研修（救急救命講習）を実施しました。
- (シ) 舞洲 SC では、安全運転管理者を選任し、安心・安全な送迎を心掛けています。

エ 衛生管理（新型コロナウイルス感染症拡大防止 他）

(ア) 感染症拡大防止対策

i) 共通の取り組み

「感染予防ガイドライン」の順守、検温器・消毒液の設置、利用人数の制限、入館者名簿の作成、スポーツ施設利用後の用具・機器・ロッカー及び体育施設の床の消毒、アクリルパーテーション他。

ii) 各センターの取り組み

長居 SC : 館内の体育施設を中心とした抗菌・抗ウイルス施工、各更衣室に天井付空気清浄機を設置、プール更衣室内シャワーの仕切り板設置。

舞洲 SC : 各スポーツ施設の自然換気の実施およびボウリング室の仕切りカーテン（ボールリターン上部）や空気清浄機の設置。各エレベーターのボタンに抗菌シール貼付。

- (イ) プールの水質管理では、日常の「遊離残留塩素濃度の測定」体制を保持し、定期的に専門機関による水質検査を実施しました。また、毎月遊泳場（プール）水質管理等状況報告書を大阪府遊泳条場条例第 16 条に基づき保健所に提出しています。
- (ウ) 舞洲のレストランでは、感染症および食中毒等の防止のためマニュアルを作成し衛生管理に努めました。
- (エ) 両センターでは、スポーツ施設としての安全快適な環境を保つため、専門業者による館内の消毒、空気環境測定を定期的に行いました。また、クーリングタワーやプールのレジオネラ属菌の検査をしました。
- (オ) 舞洲の宿泊施設の大浴室（気泡発生装置仕様）は、毎週の水替えと清掃を徹底し、定期的に専門機関による水質検査を実施することでレジオネラ属菌の発生を抑制しました。
- (カ) 館内で嘔吐等があった場合には、周囲への二次感染を防ぐために、マニュアルに沿

って迅速に清掃、消毒処理を行うようにしています。

オ 総合賠償責任保険・レクリエーション保険等への加入

- (ア) 来館者・利用者の事故やケガ等の不測の事態に備えて、総合賠償責任保険に継続して加入しました。また、スポーツ大会やイベント開催時および屋外での事業実施時には、スポーツ傷害保険に加入しました。

カ 非常通報装置

- (ア) ナースコール設備の定期点検を実施しました。
- (イ) ナースコールの呼び出しを受けると、職員が必ず現場確認を行い、必要な場合は介助等を行いました。
- (ウ) 舞洲では、アーチェリー場・多目的広場を利用する個人・団体に緊急通報装置を渡し、緊急時にはすぐさま指導員が駆けつけられるよう対応しました。

2 施設・設備の維持管理

(1) 定期点検（建築物及び設備等の保守点検）

センター管理業務基本協定書に基づき、次のとおり各種保守点検等を実施しました。

ア 長居障がい者スポーツセンター

- A 設備・機器の保守点検業務一覧表（業務の名称・実施回数・実施日）
- B 設備・機器の保守点検業務一覧表（業務の名称・実施回数・点検結果）
- C 設備総合自主点検
- ① 建築設備
 - ② 電気設備 1
 - ③ 電気設備 2
 - ④ 機械設備 1
 - ⑤ 機械設備 2
 - ⑥ 消防・昇降機設備

イ 舞洲障がい者スポーツセンター

- A 設備・機器の保守点検業務一覧表（業務の名称・実施回数・実施日）
- B 設備・機器の保守点検業務一覧表（業務の名称・実施回数・点検結果）
- C 設備総合自主点検
- ① 建築設備
 - ② 電気設備 1
 - ③ 電気設備 2
 - ④ 機械設備 1
 - ⑤ 機械設備 2
 - ⑥ 消防・昇降機設備

※ そのほか業者による機械設備等の保守点検報告書はDVD-Rで参照

(2) 建物・設備の改修

利用者の安全性や利便性を考慮して大阪市と協議のうえ、建物、設備修繕を行っています。感染症対策として空調設備の改修の他、水道・空調設備等の給水管の改修工事、利用者への安全対策などの改修工事を実施しました。

■ 長居障がい者スポーツセンター

内 容	理 由
2F ラウンジ厨房改修工事	閉店に伴う厨房の原状復帰工事
地下機械室No.2 ボイラ圧力制限改造工事	経年劣化によるガス圧力計動作不良
体育室GHPエアコン室外機部品交換作業	経年劣化によるガス電磁弁等動作不良
昇降機EL1号機部品交換	経年劣化による圧力計の動作に不具合
本館2階女子トイレの音声モニター更新工事	経年劣化による音声モニターの誤作動
1階男子トイレ小便器（2か所）取替工事	洗浄センター不良
1階プール室天井付近の養生ネット張り工事	落下物の防止及び利用者の安全確保のため
熱交換器系統蒸気配管蒸気漏れ修理	経年劣化による配管からの蒸気漏れ
吸収式冷凍機ADSE24B 冷温水ポンプ改修工事	経年劣化による冷却水漏れ等
昇降機1号機停電時自動着床装置用バッテリー交換	経年劣化による装置が不動
昇降機DW1号機改修工事	経年劣化によるロープ摩耗等
プールシャワー通路防火扉腐食部補修	防火扉本体腐食
プール室排水設備の改修工事	錆・腐食による排水不良
受水槽首部ライニング並びに天板塗装工事	受水槽マンホール嵩の破損および錆腐食
20A銅管漏れ修理	経年劣化による銅管腐食部からの漏水
プールろ過設備不具合改修工事	配管腐食、塩素ポンプ動作不良等
プール室トイレ横洗面自動水洗取り換え工事	経年劣化による漏水・動作不良
プール室強制シャワーの床シート新設工事	利用者の安全確保のため
1階指導員室手洗い上の天井部配管漏水改修工事	経年劣化による漏水

■ 舞洲障がい者スポーツセンター

内 容	理 由
アーチェリー場的台の修繕	経年劣化による腐食等のため
アーチェリー場の屋根設置	太陽光等からの利用者の安全確保のため
客室画像装置（宿泊室）の修繕	経年劣化による動作不良
転落防止手すりの設置（図書室、会議室、研修室）	利用者の安全確保のため
アリーナ床のメンテナンス	利用者の安全確保のため
防犯カメラの交換及び新設工事	経年劣化及び利用者の安全確保のため
プール可動床タイルの修繕	利用者の安全確保のため
家族浴室（浴場、脱衣室）の修繕	経年劣化による腐食等のため
2階駐車場周辺の植栽帯の塗装	塗装劣化による利用者の安全確保のため
壁面の防鳥工事	鳥類による衛生対策のため

(3) 経費縮減に対する取り組み

- (ア) 会議録をメールや共有ファイルで回覧し、ペーパーレス化を推進しました。
- (イ) 資源ゴミ（ダンボール、シュレッター屑、金属等）をまとめておき、有償回収を依頼してゴミ処理代を縮減しました。
- (ウ) 空き缶、ペットボトルは、自動販売機設置業者に無償回収を依頼しています。
- (エ) 利用団体が出したゴミ（弁当殻、ペットボトル、段ボール等）は、持ち帰っていただいています。
- (オ) 屋外の水銀灯や館内の照明器具を、順次、LED 照明器具に交換しています。

■ 長居障がい者スポーツセンター

	令和2年度総使用量	令和3年度総使用量	令和4年度総使用量
電 気	532,678 kwh	715,550 kwh	828,278 kwh
ガ ス	129,669 m ³	176,719 m ³	190,967 m ³
水 道	7,540 m ³ (※)	7,715 m ³	11,704 m ³

※ 令和2年度に地中埋設水道管の破裂、プール地下ピット内の給水管の腐食による漏れ水箇所を発見し、改修工事をしたことによる大幅減。

■ 舞洲障がい者スポーツセンター

	令和2年度総使用量	令和3年度総使用量	令和4年度総使用量
電 気	2,229,886 Kwh	2,067,105 kwh	2,555,334 kwh
ガ ス	201,765 m ³	100,245 m ³	200,167 m ³
水 道	22,530 m ³	16,816 m ³	25,149 m ³

(4) 環境への取り組み

環境問題への取り組みについては、「大阪市市内環境保全行動計画（エコオフィス21）」を基準にして、以下の取り組みを行いました。

- (ア) 廃棄物排出量を抑制するため、ゴミの分別に取り組んでいます。
- (イ) 資源リサイクル（ペットボトルキャップ）による温暖化対策に取り組んでいます。

ペットボトルキャップを分別回収することにより再資源化を促進し、CO₂の発生を抑制します。また、分別回収のキャップはワークセンター中授に運ばれ、収益金の一部は「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」へ寄付されています。

また、長居で回収したプルタブは、ワークセンター中授に運ばれ、収益金の一部は「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）」へ寄付されています。舞洲では、此花区地域福祉アクションプラン（プルトップでつながろう）」に協力しています。社会福祉協議会において「車いす贈呈」の資金として活用が図られています。

※ ペットボトルキャップ（長居：250kg、舞洲：240 kg）、プルタブ（長居：10 kg、舞洲：42.55 kg）
- (ウ) エネルギー消費を抑えるため「国の節電プログラム促進事業」に参加し、省エネ・節電に取り組みました。
- (エ) 空調機のフィルターを定期的に清掃。
- (オ) 照明器具を順次 LED 器具に交換。

3 利用状況

(1) センターの利用人数等の実績

■ 開館日数

長居障がい者スポーツセンター	297日
舞洲障がい者スポーツセンター	300日

■ 利用状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

「いっ一人で来館しても指導員や仲間がいて、安心していろいろなスポーツを楽しむことができる」という基本方針のもと、専門知識を有する指導員が、障がいの種別やスポーツの習熟度に応じて指導を行い、スポーツを通じて障がい者の自立と社会参加の促進に取り組んでいます。

今年度につきましても、新型コロナウイルスは未だ終息には至っておりませんが、社会状況は回復傾向にあり、感染症対策を講じながらも徐々に利用制限を緩和し、センターの運営を行ってきました。

引き続き、より多くの人にスポーツセンターを知ってもらえるよう長居・舞洲の施設紹介やスポーツ振興室の事業紹介を掲載したポスターを作成配布し、両センターでは、スポーツ未経験者の方にも楽しんでもらえるような教室やイベントを開催しました。

これにより、利用者については、コロナ禍以前と比べて大幅な減少が続いていますが、徐々に回復し、延べ人数で長居 127,787 人、舞洲 85,315 人、両センター合わせて 213,102 人となり、教室参加者等の個人利用者をはじめ、団体でのご利用も増えています。

■ 長居障がい者スポーツセンター

《スポーツ施設》

(単位：人)

		プール	体育室	ホウリング 室	その他	延人数	実人数
個人 使用	視覚	1,472	111	1,421	4,412	7,416	4,613
	聴言	249	51	532	1,416	2,248	1,449
	肢体	4,506	605	1,957	13,108	20,176	13,051
	内部	253	14	242	561	1,070	738
	知的	7,462	954	10,330	13,400	32,146	17,850
	精神	1,806	500	2,531	6,416	11,253	6,509
	その他	1,225	229	1,524	2,137	5,115	3,104
	介護人等	7,111	687	2,135	6,288	16,221	12,859
	計	24,084	3,151	20,672	47,738	95,645	60,173
団体 使用	障がい者	1,411	10,270	309	8,151	20,141	19,448
	介護人等	710	4,503	136	6,652	12,001	11,179
	計	2,121	14,773	445	14,803	32,142	30,627
合計	26,205	17,924	21,117	62,541	127,787	90,800	

新規利用者数 1,013 人

※ 台風 14 号接近による暴風警報発令のため 9 月 19 日（月祝）12 時 57 分～18 時を臨時休館

※ 別館（休止） 令和 4 年 8 月 23 日～10 月 19 日＜小体育室耐震補強工事＞

○利用制限の緩和状況

- 5月 プール・体育館等の人数制限の緩和（60→120人）
- 6月 個人利用の連続使用を可 ラウンジでの食事を再開
プール・体育室の時間枠の撤廃
- 7月 プールの団体利用を再開 プールの人数制限の緩和（40名→50名）
屋外プールを開室（夏季期間のみ 7/23～8/28）
- 10月 卓球の「事前予約制」→「当日、受付にて先着順」に変更
- 11月 ボウリング室の「事前予約制」→「当日、受付にて先着順」に変更、団体利用を再開
- 3月 13日からのマスクの着用については、「利用者は、個人の判断を基本としながら着用を推奨」「職員は当分の間、着用」

■ 舞洲障がい者スポーツセンター

《スポーツ施設》

（単位：人）

		プール	体育室	ボウリング 室	その他	延人数	実人数
個人 使用	視覚	283	5	89	428	805	517
	聴言	46	8	56	351	461	219
	肢体	3,039	310	1,243	6,562	11,154	6,338
	内部	77	3	82	96	258	120
	知的	6,621	315	7,329	10,364	24,629	11,974
	精神	584	39	1,765	1,815	4,203	1,657
	その他	434	72	297	781	1,584	1,031
	介護人等	8,486	595	4,574	10,074	23,729	14,772
	計	19,570	1,347	15,435	30,471	66,823	36,628
団体 使用	障がい者	1,687	4,667	108	3,869	10,331	8,966
	介護人等	1,186	4,050	50	2,875	8,161	7,039
	計	2,873	8,717	158	6,744	18,492	16,005
合計	22,443	10,064	15,593	37,215	85,315	52,633	

新規利用者数 386人

- ※ 台風14号接近による暴風警報発令のため9月19日（月祝）12時57分～18時を臨時休館
- ※ プール室（休止） 令和3年10月11日～令和4年4月30日＜吊り天井脱落対策工事＞
- アーチェリー場（休止） 令和3年10月11日～令和4年8月下旬＜外壁改修工事＞
- アリーナ（休止） 令和4年3月2日～令和4年8月下旬＜吊り天井脱落対策工事＞

○利用制限の緩和状況

- 3月～8月 アリーナ 供用中止
- 5月 プール 供用再開 (個人 50人 / 団体 10人 = 最大 60人)
- 6月 プール 定員変更 (個人 60人 / 団体 15人 = 最大 75人)
卓球・ボウリング 土日祝 (最大 2回まで)
会議室 20人→24人
- 7月 アーチェリー 供用再開 最大 3時間 (個人/団体)
- 9月 アリーナ 供用再開
- 10月 卓球 「土日祝の事前予約」 → 「当日、受付にて先着順」
アリーナ観覧席閉室→当日受付 卓球台 3台
プレイルーム→平日の団体予約を可能に (1団体 15名まで)
プール 土日祝の 1団体 → 2団体
- 3月 13日からのマスクの着用については、「利用者は、個人の判断を基本としながら着用を推奨」「職員は当分の間、着用」

≪宿泊・研修施設≫

	宿泊 (*1)	休憩	研修 (*2)	大広間	合計 (単位:人)	歳入額 (単位:円)
平成 30 年度	11,844	1,043	7,135	3,268	23,290	53,811,600
令和元年度	10,728	944	6,573	2,806	21,051	48,327,800
令和 2 年度	2,657	940	1,719	170	5,486	15,236,850
令和 3 年度	2,091	482	1,837	313	4,723	9,423,200
令和 4 年度	4,820	732	3,207	1,178	9,937	22,186,500

※ 大浴室 (一部休止) および大広間 (休止)
令和 4 年 7 月 8 日～7 月 25 日<換気設備改修工事>

*1 客室 27 室 (定員 81 名)

*2 研修室 I (定員 50 名)、II (定員 20 名)、III (定員 30 名)

■ 利用人数 (延べ人数)

長居 SC		127,787 人 (令和元年度 311,583 人)
舞洲 SC		95,252 人 (令和元年度 247,025 人)
内 訳	スポーツ施設	85,315 人 (令和元年度 225,974 人)
	宿泊研修施設	9,937 人 (令和元年度 21,051 人)
合 計		223,039 人 (令和元年度 558,608 人)

■ 使用料(スポーツ施設使用料)

長居 SC	359,790 円
舞洲 SC	871,500 円

※ 利用料(舞洲 SC「宿泊研修施設」)

舞洲 SC「宿泊研修施設」	22,186,500 円
---------------	--------------

4 実施事業

(1) それぞれのニーズやレベルに応じたスポーツ・レクリエーションの提供

ア スポーツ教室事業

障がい者とその家族・友人がスポーツやレクリエーション活動に親しみ、健康で豊かな生活を送っていただく機会の提供を目的とし、各種スポーツ教室を実施しています。

長居は 24 教室、舞洲は 23 教室を開催し、今年度も感染症拡大防止のため、すべての教室を申込制とし、人数を制限しました。

■ 長居障がい者スポーツセンター

定例のスポーツ教室（4月～3月）	実施回数	参加人数(延)
技術習得教室 (アーチェリー、車いすバスケットボール、各種はじめよう教室[水泳・アーチェリー・車いすツインバスケットボール・バトミントン・ビームライフル射撃・柔道])、パラブレイキン、ボッチャ、パレー)	11	1,430 人
リハビリ教室 (股・膝関節のトレーニング、高次脳機能障がい者のいきいき、認知機能を高めよう)	3	900 人
健康づくり教室 (精神障がい者のフットサル(「セレッソ大阪」協力)、精神障がい者のふれあい活動、ランrunラン、長居ストレッチスタジオ)	4	390 人
レクリエーション教室 (みんなで楽しもうミュージック・ケア、リズムでからだを動かそう)	2	907 人
キッズ教室 (水泳メダカ・トビウオ、障がい児の運動・スポーツ、ミュージック・ケア)	4	654 人
計	24	4,281 人

■ 舞洲障がい者スポーツセンター

定例のスポーツ教室（4月～3月）	実施回数	参加人数(延)
技術習得教室 (レベルアップ水泳、短期集中水泳、剣道体験、ダンス体験会、大人のフットサル)	5	282 人
機能向上教室 (重度身体障がい者の運動、重度身体障がい者のミュージック・ケア①②)	3	178 人
健康維持教室 (パーソナルトレーニング、BTS トレーニング)	2	66 人
アウトドア教室 (ヨット、ネモフィラ祭 2022 鑑賞ツアー、舞洲スポーツイベント満喫ツアー)	3	107 人
レクリエーション教室 (Let's スポーツ、グループ教室、遊びのひろば)	3	1,377 人
ジュニアクラブ教室 (水泳①②③、卓球、ボッチャ、フットサル、車いすバスケットボール)	7	1,919 人
計	23	3,929 人

※ ジュニアクラブ（水泳）は、プール吊り天井脱落対策工事のため、4月は長居 SC にて開催。

※ ジュニアクラブ（卓球、ボッチャ、車いすバスケットボール）は、アリーナ吊り天井脱落対策工事のため、4月～8月まで「此花スポーツセンター」で開催。

※ ジュニアクラブ（フットサル）は、アリーナ吊り天井脱落対策工事のため、6～8月は「ミズノフットサルプラザ舞洲」で開催。

イ スポーツ・レクリエーション事業、交流事業

日頃の成果を試す場として、また障がいの有無を問わず共に競技するスポーツ大会事業や仲間づくり、健康の維持増進、スポーツの生活化を進めるためのレクリエーション事業や地域との交流や利用者相互の交流の場として、交流事業を、感染症対策を講じて、開催しました。

i) -1 スポーツ・レクリエーション事業<長居>

事業名	開催日等	参加人数(実)
ビームライフル射撃交流大会	9月5日(日)	24人
アンリミテッドアーチェリー大会	11月14日(日)	40人

i) -2 スポーツ・レクリエーション事業<舞洲>

事業名	開催日等	参加人数(実)
2022 大阪市ふれあい水泳大会	9月23日(金・祝)	253人
2023 アミティカップ フットサル交流会	令和5年3月5日(日)	81人
グループ対抗レクスボ大会	令和5年3月9日(木)	30人
2023 アミティカップ 車いすバスケットボール3×3大会	令和5年3月21日(火・祝)	84人

ii) -1 交流事業<長居>

事業名	開催日等	参加人数(延)
2022 ENJOY! 長居フェスティバル	10月9日(日)	222人
第49回クリスマスをつどい ・サブイベント(ものづくり) ・メインイベント	12月17日(土)~18日(日) 12月18日(日)	97人 192人
こどもフェスティバル	令和5年3月5日(日)	224人

※ 中止とした事業:「夏まつり(盆おどり大会)」

ii) -2 交流事業<舞洲>

事業名	開催日等	参加人数(延)
創作活動	6/25, 7/16, 8/20, 9/10, 11/12, 1/14, 2/5, 3/4	235人
納涼花火イベント	8月12日(金) 夏遊び等 8月19日(金) 花火	288人
夏休み映画上映会	8月12日(金)~14日(日) 26日(金)、27日(土)	34人
2022 キッズカーニバル	10月1日(土)	291人
2022 アミティフェスティバル	10月2日(日)	176人
フレイル予防(3期)	11/26, 2/19, 3/18	50人
2023 新年のつどい	令和5年1月8日(日)	832人
大阪マラソン“クリーンUP”作戦	令和5年2月22日(水)	18人(実)

※ 納涼花火イベント:悪天候のため、花火のみ延期(8/19)

ウ 出張スポーツ・レクリエーション事業

障がい者が身近な地域で、スポーツやレクリエーションを楽しむことができるように、音楽を使った体操や軽スポーツ等、市内8区にて18回「スポーツ・レクリエーションひろば事業」を開催しました。

また、今年度から、各区役所における障がい者スポーツ振興の取組（「子育てカウンセリング事業（運動サポート）」「各種障がい者スポーツ研修会」「小中学校での車いすバスケットボール体験学習」等）に対して、指導員の派遣やアドバイス、用具の貸出等の協力や支援を行いました。

エ スポーツクラブの育成と支援

スポーツを通じたの仲間づくり、技術の向上、スポーツ活動の場として公認スポーツクラブを育成・支援し、今年度は練習会や各種競技大会が徐々に開催されました。

【両スポーツセンター公認クラブ数及び登録者数】

- ・長居公認クラブ 12クラブ（登録者数：389名）
- ・舞洲公認クラブ 10クラブ（登録者数：184名）
- ・舞洲ジュニアクラブ 7クラブ（登録者数：236名）

(2) 障がい者のスポーツ振興を担う人材の育成事業

ア ボランティアの育成

センター事業への協力や研修会・各種イベントを開催し、ボランティアの育成に努めています。

今年度は、感染症拡大防止のため、一部事業の縮小もありましたが、ボランティア活動の場が徐々に回復しました。

イ 実習生の受け入れ

学生のインターンシップ実習や中学校からの職場体験学習、就労支援センターからの実習を受け入れました。

- ・長居： 実習生・研修生 7件 25名
- ・舞洲： 実習生・研修生 3件 7名

ウ 中級障がい者スポーツ認定校学生対象

中級障がい者スポーツ指導員認定校と連携しながら、次代の障がい者スポーツ指導者を育成と障がい者スポーツの裾野を広げることを目的に、「一緒に障がい者スポーツイベントを企画しよう」を実施しました。

- ・参加校：5校（参加者数：18名）

(3) 障がい者のスポーツに関する普及・啓発事業

ア 障がいの理解講座

障がい者とその家族だけでなく、日々、障がい者と関わっている人たちを対象に、障がいの理解及びスポーツとの関わり方について学んでいただくため「障がいの理解講座」を開催しました。

講座名	開催日又は 視聴期間	申込者数	視聴回数
第1回（オンライン配信） パラスポーツから共生社会を考える －障がいの理解・パラリンピック・共生社会を めざすために－	7月1日（金） ～7月31日（日）	250人	517回
第2回（対面） 80歳の壁を超えるために －股、ひざ関節を大切にポイント－	11月3日 （木・祝）	85人	－
第3回（対面及びオンライン配信） 自律神経がキーワード －好き」が整えていく心－ *大阪市立自然史博物館との協働企画 文化庁補助事業	2月23日 （木・祝）	対面 44人 当日配信 23人	539回

イ ホームページ等でトレーニング等の動画配信

自宅でも気軽に運動ができるよう、「自宅でできる簡単ストレッチ・トレーニング」「音楽体操」の動画をホームページで公開、また、スポーツ教室ではオンラインを取り入れての実践など、様々な情報ツール（ホームページ、SNS等）の活用を図りました。また、よりスピーディに多くの人々に情報を届けるため、LINEによる情報も発信しました。

ウ 小中学校の障がい者のスポーツ体験授業への職員の派遣

小中学校からの障がい者スポーツの体験希望には、車いすバスケットボールやボッチャ競技を紹介のうえ、指導員を派遣しました。また、ボッチャ用具などの貸し出しをするなど、障がい者のスポーツに接し、体験することを通して、障がい者や障がい者スポーツの理解・啓発の促進に努めました。

エ スポーツ関係の手話を学ぼう「グッチの部屋」を動画配信

ホームページやLINE等を通じ、動画配信にてスポーツに関する手話を学ぶことにより、障がいの理解・啓発に努めました。（視聴回数：5,120回）

オ 発達障がい者支援センター・職業リハビリテーションセンターへの事業協力

法人内施設と連携し、就労をめざす発達障がい者を対象に、呼吸法・ストレッチ・軽スポーツを体験し、精神的安定を図り、自主的な運動につなげるよう支援を行いました。

カ 相談事業

スポーツにかかわる医学的な相談及びスポーツやリハビリテーションに関する悩みや疑問、運動方法等について、より効果的に取り組んでいただくため、各種相談事業を実施しました。

医事相談（長居）18件、リハビリ相談（長居）81件、スポーツ相談（舞洲）9件

(4) サービス向上策

ア 広報

- ① 「スポーツセンターだより」の発行（年4回）
- ② 掲示板、館内設置モニターの活用
- ③ ホームページ
- ④ SNSの活用 LINE（ライン）・YouTubeでの事業情報提供

イ 利用者サービスの向上

- ① 団体予約
ホームページの申請書から、メール・FAXによる予約が可能です。
- ② 個人予約
これまでの電話予約や申請書提出による予約に加え「Web」での予約も可能になりました。
- ③ その他の予約
「スポーツ相談（舞洲SC）」もWebで予約が可能です。
- ④ 利用カレンダーの配布
- ⑤ Wi-Fiの設置
令和3年度から、両館とも無料Wi-Fiを設置しており、災害時に有効な情報等を入手できるなど、安全・安心に繋がっています。

(5) 苦情対応体制

ア 苦情受付システムの掲示

利用者の利益を保護し、その権利を擁護するために協会の苦情解決事業に基づき、苦情対応体制を整え、受付システムをセンター内に掲示しています。

イ ご意見箱の設置

長居に「ご意見箱」、舞洲「アミティBOX」を設置し、ご意見・ご要望の把握をいたしました。また「ありがとうBOX」も設置し、利用者からのセンター運営や職員等への要望だけに留まらず、日ごろ感じておられること、またセンターへの応援メッセージをもいただくようにしました。利用者の皆様の声に回答を付して館内掲示にて利用者へ周知しました。利用者から寄せられる苦情等については、根本的な原因を把握し、その場限りの対応とならないよう、また「トラブル」ではなく「改善へのご提案」と捉え、再発防止をふまえて迅速に対応するよう努めました。

(6) その他の事業

ア センター運営委員会の開催

両センターの利用者満足度の向上を図るため、障がい者団体、クラブ代表者、学識経験者、ボランティア代表者、スポーツ団体代表者等13名で構成される運営委員会にご出席いただき、利用者サービスのあり方や利用者拡大、障がい者スポーツセンターの将来構等、多くのご意見をいただきました。

開催日：第1回 令和4年10月1日（土） 於：長居 SC
第2回 令和5年3月18日（土） 於：舞洲 SC

イ 利用者アンケート調査の実施

- ・期 間： 令和4年7月16日～令和4年8月末)
- ・方 法： アンケート用紙及びインターネットにより回答
- ・回答数： 長居 SC 計272件（内訳 用紙回答183件 WEB回答89件）
舞洲 SC 計174件（内訳 用紙回答71件 WEB回答103件）
合計446件（昨年 253件）

利用者の皆様から両センターとも総合的に高い評価をいただきました。

長居「満足」59% 「やや満足」 31% 計 90%

舞洲「満足」79% 「やや満足」 16% 計 95%

また、今回は、長居の建て替えに関するご意見が多くあり、「建て替えに関する正確な情報が欲しい」「長居のこの場所で建て替えてほしい」「一人でも安心して遊びに行けるただひとつの場所です。」等のご意見をいただきました。

今後も、アンケート調査における満足度評価をさらに高めていくよう、利用者の声に耳を傾け、寄り添い、満足していただけるサービスの提供に努めます。

ウ 地域や他施設との連携、各種関連団体との協働

両センターの事業を通じてスポーツ振興を図るため、周辺の地域や近隣施設・各種関連団体との信頼関係をさらに深め、情報交換や事業協力など連携に努めています。

（これまでの主な取り組み）

- ・東住吉区役所 此花区役所
自立支援協議会への参加、協力【長居 SC】【舞洲 SC】
災害時の福祉避難所（舞洲 SC 2階「会議室」）【舞洲 SC】
東住吉区わくわくスタンプラリー対象施設【長居 SC】
- ・此花区社会福祉協議会
地域福祉アクションプラン「プルトップ」回収事業【舞洲 SC】
此花区社会福祉大会 【舞洲 SC】 R4. 12. 8
このはな・ふれあい講演会（パラスポーツ「ボッチャ」）【舞洲 SC】 R5. 2. 10
此花ふれあいフェスタ 2023【舞洲 SC】 R5. 3. 18
- ・長居公園管理運営協議会への参加【長居 SC】
- ・舞洲プロジェクトへの参加【舞洲 SC】
- ・大阪市環境事業局（大阪マラソン、舞洲清掃活動に参画）【舞洲 SC】
- ・大阪北港ヨットマリーナ&北港ヨットクラブ（障がい者ヨット体験教室）【舞洲 SC】
- ・スポーツ庁・日本パラスポーツ協会（J-STAR プロジェクト【長居 SC】
- ・大和川ライオンズクラブ（夏まつり、クリスマスのつどい）【長居 SC】
- ・大阪中央ロータリークラブ（新年のつどい）【舞洲 SC】
- ・スポーツ庁・日本パラスポーツ協会（J-STAR プロジェクト【舞洲 SC】 R4. 11. 20
- ・第60回大阪市中学校特別支援学級 特別支援学校 生徒作品展【舞洲 SC】

エ 障がい者スポーツ振興部（長居 SC・舞洲 SC・振興室） 紀要の発行

「障がい者スポーツ振興部 紀要 第29集」

【指導 4編】

- ① 肢体不自由児のプール活動における変化について
～教室をきっかけに大会に参加、その後のプール活動へ～
- ② 「短期集中こども水泳教室（幼児）」の取り組みと報告
- ③ 知的障がい者の指導事例 ～Jr.フットサルの活動を通して～
- ④ 脊髄損傷とベンチプレス

【健康 3編】

- ⑤ トレーニング習慣化への取り組みについて
- ⑥ 生活習慣を改善するためのプログラム
～両膝関節障がい者への体重コントロールのアプローチを通して～
- ⑦ 「認知機能を高めよう」の教室 第4報

【マネジメント 1編】

- ⑧ 2022 ふれあい水泳大会の開催報告

【普及 1編】

- ⑨ 中級障がい者スポーツ指導員認定校学生対象事業の実施報告
～障がい者スポーツを支える人へのアプローチ～

【総合 1編】

- ⑩ 障がいの理解講座コロナ禍での開催
～パラスポーツから共生社会を考える。
障がいの理解・パラリンピック・共生社会をめざすために～

5. 自主事業

(1) ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設 機能強化事業 (文部科学省委託事業)

舞洲では、平成28年7月に国からボッチャ競技における「NTC 競技別強化拠点施設」の指定を受けており、引き続き日本ボッチャ協会との連携による指定強化選手や次世代育成選手を対象とした強化合宿や強化練習会などのサポートに取り組みました。

(2) 2023 国際親善女子車いすバスケットボール大阪大会企画調整運営事業

4か国のナショナルチームを招いての大会として、また選手やボランティアを含む大会スタッフ、観戦者等への感染対策を講じることにより有観客により開催しました。大会期間中には、車いすバスケットボールチャレンジコーナー、同体験会などを通して、障がい者への理解と国際交流に貢献し、大会開催の趣旨を果たすとともに、車いすバスケットボールを楽しんでもらうことができました。また、会場に来られない方にも大会の魅力を知ってもらうため全試合のライブ配信中継も行いました。

- ・開催日 令和5年2月10日（金）～12日（日）
- ・会場 丸善インテックアリーナ大阪（大阪市中央体育館）

- ・内 容 オーストラリア、カナダ、オランダ、日本の4か国が参加。
ytb「アスリートチャンネル」において、全試合をライブ配信しています。
- ・観戦者数 7,555人
 - 車いすバスケットボール体験会（申込制） 204人
 - 車いすバスケットボールチャレンジコーナー 1,277人

(3) レストラン、契約貸ロッカー及び自動販売機等の設置・管理運営

利用者の利便性を高めサービス向上を図るため、センターでは、貸ロッカーや自動販売機等を設置しています。

レストラン（舞洲SC）では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をはじめ、大阪府の『感染防止認証ゴールドステッカー』を取得し、安全・安心できるレストラン運営に取り組み、アレルギーや嚥下障がいの方への対応食も提供するなど、サービス向上に努めました。

6. 収支決算状況

(1) 令和4年度 センターの指定管理業務収支報告書

(単位：円)

	予算	決算	差異
受託事業収入	650,167,000	654,170,509	4,003,509
業務代行料	642,475,000	650,289,298	7,814,298
その他の収入	7,692,000	3,881,211	▲ 3,810,789
経常経費寄附収入	-	372,770	372,770
その他の収入	38,215,000	25,745,182	▲ 12,469,818
宿泊利用料収入	-	35,000	35,000
税法上の収益事業収入	38,193,000	25,481,638	▲ 12,711,362
雑収入	22,000	228,544	206,544
拠点繰入金収入	190,000	190,000	-
収入合計(A)	688,572,000	680,478,461	▲ 8,093,539
人件費支出	297,764,000	288,040,410	▲ 9,723,590
事業費支出	158,690,000	142,282,598	▲ 16,407,402
事務費支出	210,856,000	225,262,402	14,406,402
拠点繰入金支出	20,402,000	23,804,771	3,402,771
予備費	860,000	-	▲ 860,000
支出合計(B)	688,572,000	679,390,181	▲ 9,181,819
収支差(C=A-B)	-	1,088,280	1,088,280

(2) 令和4年度 センターの指定管理業務収支報告内訳表

(単位：円)

	決算額					
	決算額 (総計)	目的事業			自主事業	
		長居障がい者 スポーツセンター	舞洲障がい者 スポーツセンター	宿泊部門	長居障がい者 スポーツセンター	舞洲障がい者 スポーツセンター
		スポーツ施設部門	スポーツ施設部門			
受託事業収入	654,170,509	292,970,400	357,499,583	-	-	3,700,526
業務代行料	650,289,298	292,918,535	357,370,763	-	-	-
その他の収入	3,881,211	51,865	128,820	-	-	3,700,526
経常経費寄附収入	372,770	100,000	272,770	-	-	-
その他の収入	25,745,182	109,971	113,029	22,227,044	1,641,132	1,654,006
受入研修費収入	35,000	20,000	15,000	-	-	-
税法上の収益事業収入	25,481,638	-	-	22,186,500	1,641,132	1,654,006
雑収入	228,544	89,971	98,029	40,544	-	-
拠点繰入金収入	190,000	90,000	100,000	-	-	-
収入合計(A)	680,478,461	293,270,371	357,985,382	22,227,044	1,641,132	5,354,532
人件費支出	288,040,410	145,217,351	131,747,264	11,075,795	-	-
職員給料支出	130,852,008	70,848,225	60,003,783	-	-	-
職員賞与支出	36,388,409	18,934,727	17,453,682	-	-	-
非常勤職員給与	82,613,439	35,471,620	36,819,591	10,322,228	-	-
退職給付支出	5,318,230	2,864,930	2,453,300	-	-	-
法定福利費支出	32,868,324	17,097,849	15,016,908	753,567	-	-
事業費支出	142,282,598	51,555,662	87,751,780	2,119,271	292,907	562,978
給食費	-	-	-	-	-	-
医薬品費支出	41,595	41,595	-	-	-	-
保健衛生費支出	887,087	887,087	-	-	-	-
教養娯楽費支出	747,379	147,877	599,502	-	-	-
水道光熱費支出	128,616,497	44,475,386	81,413,015	2,049,971	247,939	430,186
消耗器具備品費	7,216,230	4,819,796	2,218,674	-	44,968	132,792
保険料支出	51,252	24,941	26,311	-	-	-
賃借料支出	137,200	13,860	123,340	-	-	-
修繕費支出	1,337,039	459,459	808,280	69,300	-	-
訓練指導費支出	-	-	-	-	-	-
車輛費支出	2,571,132	241,633	2,329,499	-	-	-
雑支出	677,187	444,028	233,159	-	-	-
事務費支出	225,262,402	85,588,758	125,938,523	8,798,033	103,015	4,834,073
福利厚生費支出	365,504	170,274	156,142	39,088	-	-
職員被服費支出	570,680	326,260	244,420	-	-	-
旅費交通費支出	449,484	170,474	73,140	470	-	205,400
研修研究費支出	183,162	77,500	105,662	-	-	-
事務消耗品費支	12,737,233	3,365,111	9,223,408	144,804	3,910	-
印刷製本費支出	39,063	39,063	-	-	-	-
水道光熱費支出	29,786,241	11,180,831	18,605,410	-	-	-
燃料費支出	1,628	1,628	-	-	-	-
修繕費支出	15,081,234	14,859,663	221,571	-	-	-
建物修繕料支出	17,016,098	-	15,175,798	1,840,300	-	-
通信運搬費支出	2,333,993	804,071	1,086,728	441,744	-	1,450
会議費支出	-	-	-	-	-	-
広報費支出	1,649,121	1,051,779	577,342	20,000	-	-
業務委託費支出	111,219,192	40,421,080	67,498,112	2,200,000	-	1,100,000
手数料支出	14,391,434	6,102,227	6,813,589	1,464,038	605	10,975
保険料支出	1,060,311	483,971	369,960	206,380	-	-
賃借料支出	2,708,727	753,938	749,672	1,116,069	-	89,048
租税公課支出	1,827,500	72,400	66,300	1,269,100	98,500	321,200
保守料支出	1,593,052	888,150	704,902	-	-	-
報償費支出	12,024,736	4,678,269	4,240,467	-	-	3,106,000
諸会費支出	75,900	-	25,900	50,000	-	-
雑支出	148,109	142,069	-	6,040	-	-
拠点繰入金支出	23,804,771	10,908,600	12,781,760	-	-	114,411
予備費	-	-	-	-	-	-
支出合計(B)	679,390,181	293,270,371	358,219,327	21,993,099	395,922	5,511,462
収支差(C=A-B)	1,088,280	-	▲ 233,945	233,945	1,245,210	▲ 156,930